



TAMA NEW WAVE PRESENTS 「REMIX」

ショートフィルムセレクション

ショートフィルムをキーワードに、新進気鋭の実力派と名高い、監督たちの作品を集めた豪華上映会！
 ゲストコメンテーターにプラネット映画祭プロデューサー河野清麿氏と短編映画館トリウッド代表大槻貴宏氏をお迎え、監督を交えた座談会も予定しています。
 次世代を担う今注目の映像作家たちの夢の競映！こんな顔ぶれ二度とない！

movies



ここからの景 岩田ユキ監督

三葉歩は、自分をごく普通の中学1年生だと思っていた。あの屈辱的な学級新聞を目にするまでは……。こずるくて、たくましくて、チャーミングな女の子たちの映画。

◆とにかくセンスがいい！「学校」という小さな世界の中での「大事件」。誰もが味わったことがあるような感情がよみがえってきて、15分だけ十代になれる映画です。(黒)



メガネの恋 浅原裕貴・高原浩人監督

メガネしか愛せない女と、彼女をめぐる二人の男。そこにメガネはあるのか？ 新型メガネショートムービー!!

◆とにかく可愛い作品です。彼女の気を引きたいばかりに視力を落とす主人公の健気さが滑稽でだけでも心が暖まります。誰かを一生懸命好きになるっていいなと思える作品です。(浜)



LOCO white/LOCO red 神酒大亮監督

世界でただ一人の紙コッパアーティスト LOCOの創作した、コップ人間(ベネチアビエンナーレ2003招待)のPV作品。LOCO blue, white, redの中から2作品を上映します。

◆とても色彩感がでていてその美しい画にまず圧巻。コップ人間を軸に描かれる不思議な世界観を、頭で何も考えずに体感してください。(浜)



梅心中 伊刀嘉紘監督

女は両腕を失い、姉の介護のもとで暮らしている。男は両腕を骨折中の便利屋。雨の日に女は心中を依頼する。腕を使えない二人はぎこちなく愛しあい、やがて希望が芽生え始めたとき、世界に異変が起こった…。

◆衝撃を受けました。最近見たどの劇場用映画より印象的であとを引く。幸せな人生って…?と考えさせられる物語。必見！(黒)



テトラポッド・レポート 富永昌敬監督

伝説のクレイアニメーション映画「虚空遊戯」の上映会場。最前列の座席で、ひと組の男女の死体が発見された。「心中である」「陰謀である」、ふたつの説を巡るもうひと組の男女の途方もないやりとりの行方は…?

◆15分の作品とは思えない内容の濃さと話の展開に、思わず作品に引き込まれました。不気味けどどこか気になる、作中のクレイアニメーションは必見です。(浜)



いじめっ子はブツ殺せ! 山岡大祐監督

大学のイベントサークル運営に成功し自信をつかんだ、かつてガリ勉の「いじめられっこ」だった男が、昔自分をいじめた相手に会いに行く。男は「いじめっこ」に謝罪を要求するが…。

◆さすがダメ人間映画のマエストロ。登場人物すべてが見事にダメオーラを放っていて、出てくるだけで笑える！もはや職人芸と言ってよいでしょう。(黒)



真夜中の散歩 高柳元気監督

真昼間の公園で泣き叫ぶ30代半ばの女とそこを偶然に通るかかった20代半ばの新聞拡張員の男が出会い、別れるまでの一日を「真夜中の散歩」というロマンティックな曲にのせて描いた作品。

◆心地いい音楽にのせて、泣き喚く理由ありの女とぶっきらぼううだけど実は優しい男が出会う。愛まで行かないほのかな優しさぐつときて思わずホロリとなります。(小)



私が幸せにいるという事 深川栄洋監督

一人の結婚適齢期を迎えた主人公の宏子が、恋愛を中心に幾つもの試練を体当たりで乗り越えようと奮闘し、倒されても立ち上がり、明日に向かって踊りだす、そんなしたたかな姿をとらえた作品。

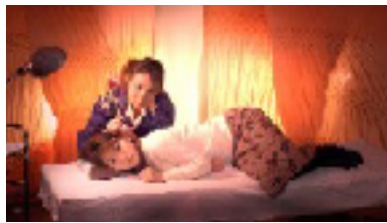
◆恋人同士にはそこにしか通じない世界が成立するもの。主人公・宏子と弘道クンの世界を覗いてしまうといとおしくハマってしまうこと間違いなし。(小)



ニワトリ 日向朝子監督

ニワトリはトサカを振ると物事を忘れてしまう。主人公・晴子は、妹からニワトリと言われる程の忘れんぼう。ある日、晴子の首が回らなくなった。これまでの自分に気づくが、返しきれないほどの忘れ物が押し寄せてきて…。

◆モノを貸し借りする仲って、そこには信頼関係が成立していたんだなと改めて気づかされて、思わず忘れんぼうな主人公を自分のことのように応援しちゃう。(小)



梵天 佐藤圭作監督

恋人の暴力で耳に傷を負った娘は、ある日、耳そうじ屋を訪れる。耳の粘膜をくすぐる快楽に魅せられた娘。耳そうじ屋の女性と不幸なOLとダメ男が織り成す、清楚で妖しい愛のお話。

◆偏執的完璧主義者、佐藤監督がおくる美しく、エロティックな「絵空事」の世界。きわどい話なのに下品にならないのは監督の美学が行き届いているから？(黒)

A プログラム	開場11:30~	開映12:00~
12:00~12:15	ここからの景	岩田ユキ監督
12:20~13:00	メガネの恋	浅原裕貴・高原浩人監督
	LOCO white/LOCO red	(CUPMAN PVより) 神酒大亮監督
13:05~13:39	梅心中	(連作短篇集「SEXTET」より) 伊刀嘉紘監督
13:45~14:00	テトラポッド・レポート	富永昌敬監督
14:15~14:45	ゲストコメンテーターと上映監督による座談会	
	ゲストコメンテーター:	河野清麿氏、大槻貴宏氏

B プログラム	開場14:50~	開映15:00~
15:00~15:28	いじめっ子はブツ殺せ!	山岡大祐監督
15:35~15:47	真夜中の散歩	高柳元気監督
15:55~16:27	私が幸せにいるという事	深川栄洋監督
16:35~17:01	プレリユード/ニワトリ	日向朝子監督
17:10~17:34	梵天	佐藤圭作監督
17:50~18:30	ゲストコメンテーターと上映監督による座談会	
	ゲストコメンテーター:	河野清麿氏

commentators

河野清麿氏 (かわのきよまる)

プラネット映画祭プロデューサー／大阪ショートショートフィルムフェスティバルゼネラルプロデューサー。大谷大学仏文学科卒業。得度も受けている僧侶である。フリー映像・イベントプロデューサー。映画、Webサイト、演劇、イベントなど幅広いプロデュース活動を行う。映画「まいDo!」などで活躍。

大槻貴宏氏 (おおつきたかひろ)

ポレポレ東中野プロデューサー(≒支配人)／トリウッド代表。成城大学経済学部卒業後、コロンビア・カレッジ・シカゴ映画ビデオ学部映画学科卒業。帰国後、東京ビジュアルアーツの講師を務める傍ら、1999年日本初の短編映画専門館トリウッドを開館。

2004年4月17日(土)

開映 12:00 (Aプロ) 15:00 (Bプロ)

ヴィータホール(関戸公民館)

京王本線聖蹟桜ヶ丘より徒歩2分
(新宿方面からの特急あり)

各プログラム
前売り：800円／当日900円

A・B通し券
前売り：1,200円／当日1,400円

※A・B完全入れ替え制です。

チケットは短編映画館トリウッド(下北沢)
またはインターネットにて好評発売中!

<http://www.tamaeiga.org>